

永野町長 町政運営の施政方針

「新しい時代の幕開けの年、
皆様とともに「肝付町」の未来を
切り拓いていきます」

一昨年に3期目の町政運営を担わせていただくようになってから1年8カ月が過ぎようとしております。私はこれまで「県下一元気な肝付町」を築いていくという思いを胸に、まちづくりに取り組んでまいりました。

人口減少と高齢化という「最大の有事」「静かなる、見えざる有事」は、地方行政にも極めて大きな影響を与え、行財政運営のおおきな課題・壁として立ちほだかつておりますが、この素晴らしいまちを、しっかりと次の世代につなげていくためにも、決して臆することなく正面から向き合い、町民の皆様とともに新しい時代・未来を切り拓いていく覚悟でございます。

町民の誰もが「このまちに生まれてよかった」「住み続けたい」、また、他の地域の方々が「肝付町に住んでみたい」と思っていたいただけるような、「ふるさと肝付」の実現に向け、自ら先頭に立ち職員一丸となって全力で取り組んでまいります。



平成 31 年度の施策は、**5つの基本目標**から構成されています。

1

『地域資源のブランド化と融合により、新たな活力を創生するまちづくり』

新規事業：肝付町PR業務事業、畜産クラスター事業など

2

『人が行き交い、自然と共生する、笑顔あふれるまちづくり』

新規事業：コンビニ交付システム導入事業、新神之市橋新設整備事業など

3

『地域が一体となって支え合う健やかで安心なまちづくり』

新規事業：病児保育事業、シルバーカー購入費助成事業など

4

『生きがいと心豊かな人材、伝統と文化を育むまちづくり』

新規事業：第75回国民体育大会事業、塚崎古墳群公有地化事業など

5

『地域が核となり、協働型社会を実現するまちづくり』

新規事業：現地駐在員派遣事業、公共施設等個別施設計画策定事業など